令和7年度　飯塚市事務事業評価シート

令和　8　年　6　月　18　日　作成

事務事業名	男女共同参画啓発事業補助金交付事業	事務事業No.	121 - 2

1．基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
市民協働部	男女共同参画推進課	事業係	係長	森　智昭	課長	田代　千明

施策体系				
総合計画	政　策	1	人権・市民参画
	施　策	2	男女共同参画の推進
	基本事業	1	あらゆる年代における男女共同参画への意識づくり
その他の計画	個別計画		第２次飯塚市男女共同参画後期プラン

根拠法令・条例・要綱等	飯塚市男女共同参画推進条例第15条、飯塚市男女共同参画推進センター条例第2条の2、飯塚市男女共同参画推進事業補助金交付要綱				
事業開始年度	平成18年度	事業終了年度	継続	事務事業類型	ソフト事業
実施手法	補助金・負担金交付	補助金等の支給	補助金等あり	実施計画期間	－

2．事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要		男女共同参画施策の総合的な推進を図るため、男女共同参画社会実現にむけて活動する市内の各種団体が行う男女共同参画問題解決のための事業の推進に要する経費について補助金を交付するもの。
対象	働きかける相手・もの	直接的な対象：男女共同参画社会の実現に向けて活動する市内の各種団体 最終的な対象：市民及び事業者等
手段	方法・働きかけ（活動指標）	男女共同参画施策の総合的な推進を図るため、市民団体が市民の目線で実施する男女共同参画問題の解決に導く各種事業に要する経費及び研修受講料等の一部を補助する。
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	本事業を通じて、市民等の男女共同参画の理解を深めることで、男女共同参画社会づくりの促進につなげる。

3．活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
男女共同参画推進事業費補助金活用団体数	団体	補助金活用団体数	1	1	3
男女共同参画推進実施事業数	講座・研修受講数	講座・研修受講数	7	8	7

4．成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	補助金執行率	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
		%	100	目標値	100	100	100
説明	補助金執行件数/補助金申請件数×100	方向性	達成目標年度	実　績	100	100	
		維持	毎年度				
指標	推進事業参加率	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
		%	80	目標値	80	80	80
説明	推進事業参加者数/推進事業目標参加者数×100	方向性	達成目標年度	実　績	109	59	
		維持	毎年度				
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実　績			

5．事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	経常経費	特別会計	－
予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 11 男女共同参画推進費
	大 99 その他の男女共同参画推進費	中 3	啓発事業補助事業費	他 0 事業

		(R2以降)	前年度実績（千円）			本年度実績（千円）			増減理由（10%以上の場合）	次年度予算（千円）		
投入人員（当該事務事業に対して１年間に投入した人員）	会計年度	正職員	0.15	人	1,222	0.15	人	1,274		0.15	人	1,274
		任期付職員(保育士)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
		任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
		任期付職員(CW・水質)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
		再任用フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
		再任用短	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
		1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
		1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
		2級パート	0.10	人	343	0.10	人	366		0.10	人	366
人件費計（A）					1,565			1,640	－			1,640
事業費		直接事業費（B）			307			296				405
		総事業費（A＋B）			1,872			1,936				2,045
直接事業費のうちの主な歳出内訳		負担金及び交付金			307			296				405
		－			0			0				0
財源内訳		使用料・手数料（受益者負担分）			0			0				0
		国・県支出金			0			0				0
		市債			0			0				0
		一般財源			1,872			1,936				2,045
		その他（　　）										

6．事務事業の事後評価★

評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性評価	高い	行政と民間団体の役割を明確にし、総合的に男女共同参画の推進を図ることが必要なため本事業の実施は必要である。
効率性評価	高い	事業実施に必要な経費に係る補助金であるため、コスト削減の余地は少ない。
有効性評価	高い	行政として、女性の社会的地位の向上と男女共同参画社会づくりの促進を図ることを目的とする事業の支援により貢献できており、今後も継続が必要である。

7．前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	多様な団体への事業を行うための本事業の周知
一次評価	現状維持		
	コストの方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	－
	現状維持		

前年度改善策に対する実績　★　　※上記の改善策に対して今年度に実施できたこと、などを記入

市公式HP・チラシ等で情報提供及び窓口でのPRを行った。

8．今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★

【成果】　本事業により、性別や世代を問わず多くの市民に男女共同参画の必要性を訴えることができた。

【課題】　今年度の申請が1団体のみとなった。他の団体からも申請されるように多様な層に向けた幅広い周知が必要である。

9.今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	【理由】
現状維持	性別や世代を問わず多くの市民に男女共同参画の理解の浸透が必要なため、本事業の継続した実施が必要があるため。
コスト投入の方向性	【理由】
現状維持	令和6年度に、類似事業を行っている他市の状況を調査したが、補助金上限が3～10万の幅であることがわかった。当市の補助上限額はほぼ中間値であることから、今後も他市の状況等を注視したい。

次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	多様な団体へ事業を実施してもらえるよう、本事業の継続的な周知を行う。
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	－

2次評価（最終評価）		
	成果の方向性	
	拡充	地域の男女共同参画推進に寄与する事業であり、新規受講者の開拓や無関心層・地域への働きかけにより、成果を一層広げる余地がある。また、市民意識調査において「意識は変容しているが行動に結びついていない」ことが課題とされている点も踏まえ、より効果的な成果を得られるよう、行動変容につながる研修の在り方を見直す必要がある。以上のことから、成果は「拡充」とする。 なお、成果の把握を満足度調査のみに依存せず、本事業の今後の拡大を見据え、客観的なKPIを設定し効果検証を実施すること。
	コスト投入の方向性	
	現状維持	事業費は約30万円と小規模だが、啓発事業の補助率が100%（自己負担なし）であり、自主財源を持つ団体への支援として過大で自助努力の意識を損なう恐れがある。コストの方向性は現状維持と評価するが、事業内容見直しによる省力化の余地は十分にあるため、現行の補助制度について見直しを実施し、また、サンセットの設定及び適切なKPIにより定期的な効果検証を実施し、事業の効率化に取り組む必要があると考える。